

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	6,515 (10units)	952,000 円	Tution, Summer Registration Fee, Documentation Mgmt Fee
宿舍費	5,395	788,000 円	3ヶ月、食事プランつき
食費	150	21,930 円	外食
図書費	159	23,246 円	教科書(3冊)
学用品費	8	1,169 円	
携帯・インターネット費	75	10,965 円	月 25 ドル
現地交通費	60	8,772 円	バート、バス(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	30	4,386 円	
被服費	100	14,620 円	
医療費		円	
保険費	193	28,265 円	形態: 大学からの旅行保険
渡航旅費	797	116,610 円	
ビザ申請費	160	22,400 円	
雑費	100	14,620 円	日常生活品など
その他		円	
その他		円	
合計	13,742	2,007,000 円	

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:東京 目的地:サンノゼ 経由地:	
復路 出発地:サンノゼ 目的地:東京 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:zipair 料金:116,610円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:zipair)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International house)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
前年度の留学報告書を読んでI-house に選びました。キャンパスと近いし、留学生が多いという点で他の人と仲良しになりやすいと思ったからです。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>私は相部屋で生活しましたが、大きな問題なく快適に過ごしました。ルームメイトがいるとお互い生活のいろんな部分を話し合う必要がありますが、入居前に寮のホームページでルームメイトとやり取りすることができるのでそれで連絡先を交換したりしました。個室に比べると部屋が狭いですが、多様な国籍の友達を作ることができるため英語を多く使いたい人には相部屋もいいと思います。</p> <p>I-house は費用にミールプランが入っていますが、食事はおいしく、様々な料理が出るため食事に関する心配はありませんでした。また、バストイレなどは毎朝掃除をするため、清潔に関しても不便を感じませんでした。建物は少し古いですが、インターネットとかは早いし保安も徹底してます。I-house は交換留学生と現地の留学生が住んでるため多国籍の人々と交流することができます。そして寮では定期的に行うイベントなどがあり、みんなと仲良しになりやすいです。</p> <p>また別当の図書館があり、静かに勉強できる場所もあるし料理ができる場所、楽器などを演奏できる場所もあるため快適に過ごすことができます。そして3回にはパソコンがあり、コピー機を使うこともできます。部屋は少し狭いですが、1階に洗濯機と乾燥機があるので洗濯物に関する問題はありませんでした。</p>	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

現地の危険地域情報は主に二つの方法で収集しました。一つ目は Berkeley WarnMe という大学からのメールシステムです。バークレー校では、キャンパス周りに事件が起きた時メールで通知してくれます。どこで何が起きたかはもちろん、何かを目撃したときどこに報告したらいいかも書かれています。二つ目は Citizen というアメリカのアプリです。アプリでは自分が住んでる地域周りの事件(盗難、火事、銃撃事件など)を教えてください。またリアルタイムで追加の情報や事件の様子などもアップロードされるためとても有益です。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮とキャンパスでは固有のインターネットをお使いしましたが、スピードも早く、全く問題ありませんでした。携帯電話は Mint Mobile を利用しましたがどこでも不便なく使いました。購入は Amazon とかでもできるし、格安でデータや電話などを十分使うことができました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を作ってそのデビットカード使いました。親からの仕送りもこの口座へ振り込んで使いました。銀行口座は身分証と学生証、現地の電話番号などがあると開設することができます。口座を作った場合、日本に帰国する前に残高を 0 にして口座を閉めなければなりません。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

必要な生活用品などはほとんど現地で調達することができます。非常薬や電子機器などは自分が慣れたものを使ったほうがいいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

授業料は親のクレジットカードで支払いました。2月初旬に授業の申し込みが始まり、支払は1週間以内にしなければなりません。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Negotiation and Conflict Resolution	交渉術
科目設置学部・研究科	Haas
履修期間	Session A (5月23日～6月29日)
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Cort Worthington
授業内容	このコースでは主に交渉する方法について学びます。様々なケースを用いて、クラスメートとロールプレイをしながら日常はもちろんビジネスの場で使うことができる交渉のスキルを身に付けることができます。全てのロールプレイは英語で行うし、他にもゲームやグループプレゼンテーションなどをします。そして対話のスキルを向上させるためのトレーニングもします。
試験・課題など	中間テストと期末テストがあります。範囲は授業で学んだ内容と、別当の教科書(合計4冊)の中からです。問題は選択、穴埋め、論述などができ、難易度は高いほうです。テストでいい成績をとるためには予め本を読んで勉強する必要があります。 課題は毎授業ごとにリーディングの課題が50ページ以上出ます。また、ロールプレイの背景を読んだり、グループプレゼンテーションの準備などが主な課題です。課題の量は多い方です。
感想を自由記入	留学中に受けた授業の中で一番学ぶことが多く、役に立った授業だと思います。特にコート先生はとて面白くて理論よりは実生活で使える交渉について分かりやすく教えてくださいました。授業では毎回様々なケースでロールプレイをしますが、全て英語で行うため英語力向上には最高の時間です。先生よりも学生たちが話す時間が多いし、お互い交流する時間も長いため、最後にはみんな仲良しになっていました。課題は多い方で、テストも難しいですがそれを超える価値がある授業だと思います。一つ注意する点は、授業中には電子機器を使うことができないため、辞書を使うこともできませんでした。そして筆記も手書きでする必要があったため少し大変でした。実際にクラスにはビジネスメジャー以外にもCS、エンジニアなどを勉強する現地の学生がいましたが、すべての学部におすすめします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Leading People		リーディングピープル
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	Session A (5月22日～6月29日)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に150分が3回	
担当教授	Janet Brady	
授業内容	このコースではリーダーシップ、マネジメント、組織行動などをテキストと実例などを用いて学びます。授業では講義、グループディスカッション、プレゼンテーションをします。パークレーのビジネス学部で行う講義で、理論多めの授業です。そして各理論を説明する前に必ず実例または映画などの動画を用いて説明します。	
試験・課題など	中間テスト、期末テストがあります。問題は全て選択しから答えを選ぶもので、復習をしていると難しくありません。範囲は教科書、動画、ゲストスピーカーなど授業で扱った全てです。課題はテキストの予習ぐらいですが、ページ数がかなり多いほうです。そしてグループプレゼンテーションがあり、RPPという大学院生の研究を手伝うものなどが課題としてありました。	
感想を自由記入	この授業は典型的な経営学の講義です。その中でもリーダーシップ、組織コミュニケーション、多様性などを主に学びます。授業は主に先生一人で講義を行うだけでした。しかし、授業のはじめまたはケースを用いてディスカッションをすることもあり、学生が参加できる要素もあります。主に経営学を勉強する人が講義を受けました。経営学部や商学部の人にオススメです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	Haas	
履修期間	SessionD (7月3日～8月10日)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に150分が3回	
担当教授	Mohammed Nadeem	
授業内容	このコースは講義名通りにマーケティングについて学びます。マーケティングとは何かから初めてマーケティング戦略、消費者行動、市場倫理などについて勉強します。そしてニュースの記事と企業分析レポートを解釈しながら企業の5C,4P,STPを理解するスキルを学びます。他にも毎週ディスカッションを行ったり、グループプレゼンテーション、フィールドトリップなどでチームワークを高めます。	
試験・課題など	中間テストと期末テストがあります。両方パソコンを使って行い、問題は選択肢から選ぶものと論述するものなどがありました。こまめに予習したり授業を集中して参加しながら受ける場合難しい難易度です。 課題はテキストを読むこと以外に、毎週ニュースの記事と企業の分析レポートを読むことが大事でした。それをもとにクラス全体でディスカッションを行うため、それを読まない授業に参加することが難しくなります。	
感想を自由記入	先生は誰よりも学生に興味が多く自分の授業に熱心でプライドがあるすごい方です。いつも質がいい授業資料を配ってくれるし学生みんなの意見を尊重してくれます。授業では初日からグループを決めますが、このグループで毎週課題を行うし、プレゼンテーション・フィールドトリップを行うため、大事に組む必要があります。授業の内容は少し難しいですがその分学ぶ内容が多いし、英語力の向上にも役に立ちます。とても実践的な授業のため、課題の一部で直接サンフランシスコにあるグーグルの事務室に行き、マーケティングの人とインタビューをしたりしました。特にマーケティングを越えて、企業を見る目を育つことができます。授業の雰囲気もいいし、アメリカの経営についても学ぶことができます。経営学部の人には特にオススメです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Language and Culture: Food for Thought	欧米の言語と文化:食に関する考え
科目設置学部・研究科	
履修期間	SessionF (7月6日~7月20日)
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Jennifer Burton
授業内容	このコースは交換留学生のためのコースで、アメリカの食文化について学びます。特にアジアとアメリカの食文化の違いや理解の仕方などを学びます。授業で使うテキストはないし、先生が準備したプリントと動画などの授業資料で行います。
試験・課題など	テストはありませんが、最後にグループプレゼンテーションを行います。課題は勉強をすることよりも映画を見ること、実際にアメリカの食堂に行ってみることなどがありました。
感想を自由記入	この授業はアメリカの食文化に興味が多い人にお勧めします。授業自体は軽い感じで、何かを学ぶよりは英語を学ぶ感じがしました。大学の授業よりも語学の勉強をする感じで、難しい内容はありませんでした。先生は留学生と授業をすることに慣れているため、アメリカだけの文化などを豊富に紹介してくれます。そして授業時間以外に、パークレーの図書館を紹介してくれたりしました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

3年生の春学期に留学に行ったためまだ進路を決定していませんが、貿易業界で働きたいと思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	英語の勉強
	8月～9月	8月 TOEFL 取得
	10月～12月	留学申請
留学開始年	1月～3月	2月受講科目の決定、寮の申請、学内オリエンテーション参加
	4月～7月	4月ビザの面接、5月出国
	8月～9月	8月帰国、留学報告書作成
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	同上
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学先として UC バークレー校を選んだ理由は、英語力を向上しながら、アメリカで経営学を勉強してみたかったからです。そして将来貿易など、様々な国の人と交流できる仕事で働きたいため、海外に住みながら異文化勉強がしたかったです。UC バークレー校のサマーセッションは、現地の学生だけではなく、様々な国から交換留学生がくるため、私が望んでいた異文化交流には最適の空間でした。実際にクラスにはアメリカ、日本、韓国、中国、イタリア、フランス、カナダ、台湾、香港、フィリピンなどの国から来た友達と一緒にグループワークをしたり、ディスカッションをすることができました。

そして留学で何よりよかった点は、大学生の身分として海外で3ヶ月間生活することができた点です。単にその国を旅行したり観光スポットに行っただけではなく、その国に住みながら日常生活を送る経験は簡単にできないと思います。また安全や金銭的な面でもいろいろ問題があると思いますが、トップユニバーシティ留学プログラムを通じてその問題を解決することができました。さらに、学生だけの割引や、キャンパスの膨大な図書館・スポーツセンターを利用できた点もとてもよかったです。まだ英語が苦手だったり、海外で住むことが怖い方ならぜひ留学プログラムを利用することをオススメします。

カリフォルニアは全体的に天気がいいイメージがありますが、バークレーとサンフランシスコ地域はやや寒かったです。平均気温は13~23℃であったため、決して日本の夏みたいに熱い気温ではありませんでした。そしてほとんどの文化が日本と真逆なので事前に調べる必要があると思いますが、カリフォルニアの人々はアメリカの中でも特に優しいほうなので安心してください。

留学を通じて一番向上されたのは英語の聞き取り能力です。3ヶ月は英語を完璧にマスターするにはとても短い期間です。しかし、英語の聞き取り能力や日常で使う英語のスラングなどはある程度身につくことができると思います。私の場合、初めは授業や友達の話の聞き取ることがとても難しかったです。特に、アメリカには多様な人種の人々が住んでおり、独特のイントネーションで話します。それに耳が慣れるまでは時間がかかりますが、頑張って授業に参加し、友達作って交流すればすぐ慣れると思います。そして教科書や本では学べなかった英語のスラングも現地で学ぶことができました。特にアメリカの若者は略し言葉をとても頻繁に使いますが、彼らと交流をしながら自然に身につくことができました。

アメリカは日本と比べてとても広い国です。その分一つの国に様々な気温と自然環境が保存されているため旅行できるスポットがとても多いです。週末休み各セッションが終わる期間、または留学が終わった後、余裕があればアメリカのいろんな所を旅行することをオススメします。